

V. 教育内容

1. 基礎分野

教育内容	授業科目	単 位	時 間
科学的思考の基盤 【4単位】	看護物理学	1	15
	論理学	1	30
	情報学	1	30
	教育学	1	30
人間と人間生活・社会の理解 【10単位】	哲学	1	15
	生命倫理学	1	15
	英会話	1	15
	ポルトガル語	1	15
	社会学	1	30
	人間発達学	1	30
	人間関係論	2	30
	芸術	1	15
	手話	1	15
合 計		14	285

分野	基礎分野	授業 科目名	看護物理学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 基本法則を学び、看護実践場面で活用できる基礎的能力を養う。 2. 看護技術における力学的根拠が理解できる。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 看護の実践場面で必要な基本法則が理解できる。	1) 物理学とは 2) 運動と力 3) 熱 4) 音と光 5) 電気と磁気 6) 放射線	(1) 「物」の「理」を探る (2) 量の単位と数値の取り扱い方 (1) 物体の運動 (2) 力と加速度 (3) 力のつり合い (4) 力のモーメント 《モーメント・平地歩行と階段歩行》 (5) 仕事とエネルギー (6) 圧力 《圧力・浮力》 (1) 熱と温度 (2) 固体・液体・気体 (3) 熱と仕事 (1) 音と光の正体は「波」 (2) 音 (3) 光 (1) 電気とはなにか (2) 磁気 (1) 原子の構造 (2) 原子核と放射線 (3) 放射線の人体への影響 (4) 医療における放射線の利用	講義・演習 講義 実技演習 実技演習 講義 講義 講義 講義
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
系統看護学講座 物理学 医学書院				

分野	基礎分野	授業 科目名	論理学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
論理的な表現の基礎を理解し、論理的思考を基に客観的に評価できる能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 論理的思考を理解する。 2. 論理的思考を実践する。	1) 論理的思考 1) 論理的思考を用いて考える。 2) プレゼンテーション	(1) 論理学とは (2) 演繹法と帰納法 (3) 論理学的思考の原則(思考とは) (4) 論理学的思考の原則を用いた文章作成 (1) テーマの設定 (2) 下調べ (3) テーマの絞り込み (4) 討議の基礎 ①グループワーク ②ディスカッション ③シンポジウム ④バズセッション ⑤討議法 (5) 情報の収集 ①聞き取り ②情報検索 (6) 情報の整理 ①情報の検討 ②抽象化 (7) 情報の構造化 ①関係性の抽出と図示 (8) 仮設の設定 (1) 発表と評価 ①プレゼンテーションの基礎	講義・演習
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	情報学	
開始 年次	1 年 前・後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
情報リテラシー、コンピュータ、インターネットの基礎知識と統計・データ分析の基礎を学ぶとともに、情報機器の操作に習熟し、医療・看護に関する情報の収集、管理の基礎的能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 現代社会における情報の基礎知識が理解できる 2. 保健医療における情報の基礎知識が理解できる 3. 情報リテラシーの基礎とその活用が	1) 情報と情報社会 1) 保健医療における情報 2) 情報と倫理 1) 情報処理	(1) 情報の定義と特徴 ①情報とは ②情報の特性 ③情報の認知と意思決定 ④情報の伝達とコミュニケーション (2) 社会と情報 ①情報社会の成立と発展 ②情報社会で求められること (1) 保健医療と情報 ①医療における情報 (2) 看護と情報 ①看護における情報 ②情報社会と看護 (3) 医療における情報システム ①病院情報システムと記録の仕方 ②地域医療福祉のネットワークとシステム (1) 情報倫理と医療 (2) 患者の権利と情報 (3) 個人情報の保護 ①医療・看護における個人情報 ②情報の利用の仕方 (1) コンピュータリテラシーとセキュリティ ①コンピューターに関する基礎知識 ②インターネットに関する基礎知識と注意点 (2) 既存の情報の収集方法 ①文献検索 ②インターネット上で役立つ情報へのアクセス ③データ検索と利用	講義 演習

時間	目標	主題	内容	指導方法
			(3) Excelによる統計解析 (4) 文字情報の整理 ①対象と目的に応じた文字 情報の整理のポイント ②レポートの書き方の基礎 ③ワープロソフトの使い方 (5) 情報の発表とコミュニケーション ①口頭発表とポスター発表 ②インターネットにおける発表とコミュニケーション	
1	単位認定試験：講義毎に課題作成により評価			
テキスト				
看護・医療系のための情報科学入門 サイオ出版				

分野	基礎分野	授業 科目名	教育学	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
教育に必要な基礎知識を学び、看護に必要な基礎的能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 教育の本質と意義が理解できる。	1) 教育学を学ぶために 2) 教育をなりたせるもの 3) 教育の営みを考える 4) 現代教育の新たな課題	(1) 社会の中の看護と教育 (2) 教育とはなにか (3) 教育の対象 (4) 社会変動と教育 (5) 教育の組織化－学校 (1) 教授一人を教えるということ (2) 訓育－他者とのかわりを導く (3) 養護－教育の受け手を見守る (4) 発達－教育を受けて成長する (1) 学びの場－学校と家庭 (2) 教育の目標と評価 (3) 教育のメディア－教育をデザインする (4) 教育の担い手－専門性と専門職性 (5) 教育の場をつくるしくみ (1) キャリア教育（専門教育） (2) ジェンダーとセクシャリティ (3) 特別ニーズ教育・インクルーシブ教育 (4) 生涯教育 (5) シティズンシップ教育	講義・演習
1	単位認定試験：レポート			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	哲学	
開始 年次	3年 前期	単位数 時間数	1単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 哲学的に考えることの意味を理解し、哲学の基本的な考え方を習得する。 2. 人間の存在の意味や本質の捉え方を学び、人間観を深める。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 哲学とは何かが理解できる。 2. 哲学的思考に親しむ。	1) 哲学とは何か 2) 西洋哲学史の概略 1) 言葉とは何か 2) 主体とは何か	(1) 哲学と他の学問の違い (2) 知の源泉についてのグループ (1) 哲学的主題の変遷 (2) 人間とは何かについてのグループ討論 (1) 連想ゲームをやってみる (2) なぜ連想ゲームができるのか (3) 本質反映説と規約説 (4) 分節体系としての言語 (1) 主体とは何かについてのグループ討論 (2) 解説レクチャー	講義 演習
1	単位認定試験：筆記試験、演習課題			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	生命倫理学	
開始 年次	3年 前・後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
人間の生と死に対する考え方を深め、倫理観を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 倫理学、生命倫理学とは何かを理解できる。 2. 生命倫理学の諸問題について理解できる。	1) 倫理学とは 2) 生命倫理学とは 1) 人権思想とは 2) 自己決定原理 3) 利己主義と義務論 4) 人間の尊厳	(1) 倫理学とは (1) 生命倫理学とは (2) 中絶をめぐる論争 (3) リプロダクティブ・ライツという観点 (1) 人権についてのクイズ (2) クイズの解答と説明 (3) 具体的事例について討論 (4) 障害をどう捉えるか (1) 自己決定原理とは (2) リベラリズムとは (3) 死ぬ自己決定について討論 (4) 安楽死の法制化について (1) 利己主義と義務論 (1) 人間の尊厳について	講義 演習
1	終講試験：筆記試験、演習課題			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	英会話	
開始 年次	3 年 前期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 国際化に対応できるコミュニケーション手段としての英語力、特に「聞く」「話す」「読む」能力を養う。 2. 英語の文献が読解できる能力と日常生活の英会話ができる能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14		Course introduction and needs analysis 「コースの紹介と必要性分析」 Key vocabulary and phrases 「キーとなるボキャブラリーとフレーズ」 What is a nurse? 「看護師ってなんだろう？」 (Roles and responsibilities) (役割と責任) Patient -nurse relationship 患者と看護師との関係 (Asking for personal details) (身体症状を聞く) Communication with a patient 「患者とのコミュニケーション」 (Listening to and sympathizing with the patient) (患者に耳を傾け、思いやる) Intercultural communication with a patient 「患者との異文化間コミュニケーション」 (Avoiding and solving difficulties) (問題を避けて、解決する) Doctor - nurse relationship 「医師と看護師との関係」 (Seeking advice from a doctor) (医師に助言を求める) Consulting a specialist 「専門医に診察してもらう」 Nurse and the hospital 「看護師と病院」 (working in the hospital) (病院で働く) Nurses in the community 「地域社会における看護師」 (Teaching outside the hospital) (病院外の指導) Nursing in the future 「将来の看護」 (What type of nurse do you want to be?) (あなたはどんな看護師になりたい?) Review class 「復習」		講義 演習

時間	目標	主題	内容	指導方法
		Presentation preparation 「プレゼンテーション準備」 Presentations 「プレゼンテーション」 Presentation feedback & reflection 「プレゼンテーションのフィードバックと反省・感想」		
1	プレゼンテーション：20%、参加度：20%、MVQs：20%、作品：20%			
	オーラルコミュニケーションスキル：20% 合計：100%			
テキスト				
クリスティーンのやさしい看護英会話 医学書院				

分野	基礎分野	授業科目名	ポルトガル語	
開始年次	2年 前期	単位数 時間数	1単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
異文化理解の一環としてブラジル文化に親しみ、コミュニケーション手段としてのポルトガル語の基礎的な能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14		1. ブラジル文化①「ポルトガル語を公用語としている国と地域と歴史」 語学練習（ポルトガル語の文字と発音）（挨拶表現） 2. ブラジル文化②「ブラジルの都市紹介」 語学練習（名詞の性と数） 3. ブラジル文化③「生活スタイル、ブラジル料理」 語学練習（否定文と疑問文） 4. ブラジル文化④「音楽や美術」 語学練習（動詞①） 5. ブラジル文化⑤「教育システム」 語学練習（動詞②） 6. ブラジル文化⑥「日系移民」 語学練習（形容詞、所有形容詞、支持詞） （健康や病気に関する表現①） 7. ブラジル文化⑦「在日ブラジル人の現状」 語学練習（健康や病気に関する表現②） 8. プレゼンテーション		講義 演習
1	単位認定試験：プレゼンテーション			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	社会学	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
社会の基盤を成す一人ひとりの人間の生活・暮らしをとらえ、社会のありかたを考える。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 人間生活を取り巻く社会について理解できる。 2. 保健医療をとりまく社会について理解できる。	1) 人間生活と社会学 1) 保健医療と社会学	(1) 社会の成り立ち (2) 現代社会の特徴 (3) 生活と社会 (4) 家族 ①家族の現在 ②ライフコースの変化と家族 ③ライフステージでみる家族の課題 ④家族のケア機能 ⑤家族のこれから (1) 社会的な健康 (2) 集団・組織 (3) 個人および集団における対立と協働 (4) 地域社会 (5) グローバリゼーションと社会 (6) 科学からとらえた健康行動	講義 演習
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	人間発達学	
開始 年次	1 年 前期	単位数 時間数	1 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
人間発達の意義を理解し、生命誕生から死に至るまでの心身の形態や機能の成長・変化の過程を理解する。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
29	1. 人間発達学を学ぶ意義について理解できる。 2. 人間発達観の変遷と発展について理解できる。 3. ライフサイクル各段階における形態機能的・心理社会的側面の発達について理解できる。	1) 人間と発達 1) 発達理論の歴史的展開 1) 人間のライフサイクルと発達	(1) 発達とその関連概念、発達の一般原理 (2) 人間と発達の関連性、人間発達学の学習の意義と重要性 (3) ライフサイクルおよびその関連概念 (1) 人間理解のための発達理論の重要性 (2) 発達に関する初期の理論 (3) ゲゼルの発達理論 (4) エリクソンの自我発達理論 (5) ピアジェの認知発達理論 (6) ボウルビイの愛着の理論 (7) レビンソンの成人の発達理論 (8) ハヴィガーストの発達理論 (1) 乳幼児期から学童期、思春期における形態機能的側面および心理社会的側面の発達 (2) 青年期から成人期における形態機能的側面および心理社会的側面の発達 (3) 老年期における形態機能的側面および心理社会的側面の発達	講義 演習
1	単位認定試験：筆記試験			
テキスト				
看護のための人間発達学 医学書院				

分野	基礎分野	授業科目名	人間関係論	
開始年次	1 年 前期	単位数 時間数	2 単位 30時間	
授業の目的及びねらい				
人間関係構築を目指す上で、自己理解と他者理解を深めることの重要性を学び、相互作用を意識しながら人と関わる力を身につける。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
30	1. 一人の人間と人間 の関係について理 解を深める。 2. 人間関係をつくる 理論と技法につい て理解を深める。	1) 人間関係の中の自己と 他者 2) 態度と対人行動 1) 相互作用とコミュニ ケーション 2) カウンセリングと心理 療法	(1) 人間関係の必要性 (2) 自己認知 (3) 対人認知 (1) 対人関係の成立 (2) 対人葛藤と対処 (3) 対人関係に影響を及ぼす態度 (1) 対人コミュニケーション ①非言語的な対話 ②言語的な対話 (2) アサーティブーコミュニ ケーション (1) カウンセリング・心理療法 ①支持的精神療法 ②クライアント中心療法	講義 演習
単位認定試験：授業参加態度 レポート課題				
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	芸術	
開始 年次	2年 前期	単位数 時間数	1単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
芸術の魅力に触れることで自身の情感を育み、医療人として、社会に生きる人々が持つ多様な視点、文化、 生き方を理解するための一助とする				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14	1. 芸術について理解し、芸術を学ぶ意義を理解できる。 2. 芸術に触れ、自己の精神的・感覚的な変動に気づき、芸術が持つ価値、芸術が与える影響を理解できる。	1) 芸術とは何か 1) 芸術鑑賞	(1) 芸術の基礎知識 オリエンテーション (2) 複製技術と芸術 W. ベンヤミンによる議論 (3) ポップカルチャーと芸術 音楽、メディア、ライブ (1) 滋賀近郊の芸術を知る 音楽、演劇、・文芸・美術・建築など (2) 芸術鑑賞計画書の作成 (3) 芸術鑑賞計画の報告 芸術鑑賞計画の提出 (4) 芸術鑑賞後の報告 芸術鑑賞報告書の提出	講義 演習
1	芸術鑑賞後に提出する報告書の内容、および報告会におけるプレゼンテーションの内容に対する評価をもって単位認定試験とする			
テキスト				

分野	基礎分野	授業 科目名	手話	
開始 年次	1 年 後期	単位数 時間数	1 単位 15時間	
授業の目的及びねらい				
1. 聴覚障害について理解を深め、コミュニケーション手段としての手話の基礎的な能力を養う。				
時間	目標	主題	内容	指導方法
14		1) 手話の概要	(1) ガイダンス ①手話や聴覚障害に関する用語の意味 ②物の形や特徴をとらえて伝える ③あいさつの手話 (2) 自己紹介1 ①名前を表す方法 ②指文字 ③数詞表現 ④家族 (3) 日常生活の手話1 ①WH疑問文 ②感情の表現 ③大きさ、長さの表現 (4) 日常生活の手話2 ①経過の表現 ②趣味・仕事 (5) 看護における手話1 ①健康や病気に関する表現 (6) 看護における手話2 ①健康や病気に関する表現 (7) プレゼンテーション ①全体スピーチと振り返り	講義 演習
1	単位認定試験：プレゼンテーション 筆記試験			
テキスト				
はじめて出会う手話 一般財団法人 全日本ろうあ連盟				